

令和元年度第1回佐賀市地域福祉計画・地域福祉活動計画策定推進委員会 議事概要

○日時

令和元年11月26日(火) 14:00～16:00

○場所

ほほえみ館1階 きらきら学習室

○出席者

【委員】(敬称略、順不同、◎は会長、○は副会長)

石井孝嗣、副島洋一、大島一紀、蒲原鈴代、井手正博、池田隆彦、小林紀、
谷口仁史、谷口紀彦、◎田代勝良、○上野景三、上野桂子

【事務局】

<市>大城保健福祉部長、西村福祉総務課係長、山口福祉総務課主事

<市社協>貞富事務局長、渡辺福祉課副課長、浦田福祉課主事

【傍聴者】 なし

○次第

- 1 開会
- 2 委嘱状交付
- 3 挨拶
- 4 議事
 - (1) 第4期佐賀市地域福祉計画・地域福祉活動計画について
 - (2) 第4期佐賀市地域福祉計画・地域福祉活動計画改定にかかる市民アンケートについて
 - (3) その他
- 5 閉会

■会議概要

1 開会

○事務局

- ・委員の過半数以上の出席により会の成立を報告。

2 委嘱状交付(2名)

- ・石井委員へ交付。
- ・谷口紀彦委員へ交付。

3 開会挨拶

市大城保健福祉部長、市社協貞富事務局長挨拶。

4 議事

○事務局

- ・会議については、佐賀市審議会等の会議に関する規程に基づき会議を公開する。

○会長挨拶

- ・社会福祉法の改正もあり、アンケートには次期計画に新たに加えていくべき内容も盛り込まれている。このことも踏まえつつ、より良い地域福祉計画・地域福祉活動計画にするため一緒に取り組みたい。

(1) 第4期佐賀市地域福祉計画・地域福祉活動計画について

○事務局

【資料1】を基に、第4期佐賀市地域福祉計画・地域福祉活動計画について及び社会福祉法による計画の位置付け、第4期に新たに盛り込むべき事項等について説明。

質疑

○委員

- ・位置付けの件で、法改正に伴う位置付けでは他の関連計画がすべて地域福祉計画に包含されるような図になっているが、これは正しいのか。
- ・「地域共生社会」の考え方について、より詳細な説明をお願いしたい。

○事務局

- ・位置付けの件については、地域福祉とその他の高齢福祉、児童福祉等で、「共通して取り組む事項を盛り込むこと」とガイドラインでは記載されている。
- ・地域共生社会については、人のことも自分のこととして捉え、全ての人たちが受け手・支え手の一方に回るのではなく、共に支え合う社会を目指すことが地域共生社会の理念と考えている。

○委員

- ・他の関連計画との整合性をとることは分かるが、図を見ると第4期地域福祉計画の下に他の関連計画があるように見える。描き方を工夫した方がよい。

○会長

- ・地域福祉計画とは、地域の中で様々な人達が一緒に生活できるような仕組みを作っていくことが最初の考え方だったと思う。
- ・地域福祉計画の中に各制度の計画も全て盛り込まれるような整理ができればいいが、法律体系の中では難しい点があると思う。

(2) 第4期佐賀市地域福祉計画・地域福祉活動計画改定にかかる市民アンケートについて

○事務局

【資料2】を基に、アンケート（案）について説明。

質疑

○委員

- ・外国籍の方々についての設問があったほうがいいのではないかと。
- ・問12の選択肢のニートやひきこもりに含まれていると思うが、不登校の問題も含まれると思う。
- ・問13の2で「ボランティアに参加できない、したことがない」という選択肢で経済的な理由もあると考えられる。
- ・「福祉サービスに関する情報をどこから」という質問で、選択肢の13番に「インターネット」があるが、パソコンとスマートフォンに分けるべきではないかと。

- ・問の19「生活困窮者自立支援法について、あなたは知っていましたか。」は、ほとんどの人が知らないと答えるのは目に見えていると思う。

○事務局

- ・頂いた意見は可能な限り反映させていきたい。

○会長

- ・問13「ボランティアに参加していますか」は、前回実施しているアンケートでも選択肢は3つだったか。

○事務局

- ・問13は前回と変わらない。

○委員

- ・先ほども指摘はあったが、外国人の問題に対する課題は入れたほうがいい。
- ・避難行動要支援者支援制度は自治会等で積極的に取り組んでいるが、制度は知らない人が大多数と思う。
- ・生活困窮者自立支援法は聞いたことはあるが中身はよく知らない。もう一回、精査したほうがよいと思う。

○会長

- ・多文化共生は、計画に入ってくる内容と思われる。これも論議をしていかないといけない。

○委員

- ・Fの4の「家族構成を教えてください」の選択肢は、年代によって選択肢を分けるべきではないか。
- ・問の14の「自治会や老人クラブに参加したいと思いませんか」という設問は、「参加せざるを得ない」という選択肢も追加してもらいたい。

○会長

- ・権利擁護に関する設問について仕組みの説明と重複する点は整理したほうがいい。

○事務局

- ・世帯構成についての指摘は、前回のアンケートを踏襲しているため、選択肢を分けていない。
- ・権利擁護の件については、他の問いと比べ具体性に欠けることと他の問いの回答を包含しているため、検討させていただきたい。

○会長

- ・避難行動要支援者支援制度や生活困窮者自立支援制度については次期計画に必ず入れなければならないため、質問が分かりやすく、答えやすい形にしたほうがよい。
- ・回答の選択肢に相談機関や関係団体があることで、今後、相談する際の一助になるかもしれない。

○委員

- ・アンケート調査に入る前に第4期計画策定に向けての全体像の提案が欲しい。
- ・まず第3期の計画に対する市民等の評価がなければ、第4期の課題は何なのかが分かりにくいと思う。
- ・制度について説明をした上で「あなたは知っていますか」と問うのは回答を誘導しかねない。
- ・一度見直されないと第4期の計画に資するような結果が出てこないと思う。

○事務局

- ・前段で説明を入れているのは、制度を知ってもらいたいという意図があったために入れている。
- ・他の質問項目でも前段で説明を入れている箇所があるが、説明は省いたほうがいいのか。

○委員

- ・啓発の部分も含むのであれば、「この制度についてあなたが関心を持つのはどこですか。」などの聞き方をするべき。

○会長

- ・生活困窮の方の生活を安定させていくためにどのような施策や対策が必要かという視点で問い、計画策定に資するようなアンケートでなくてはいけないと思う。

○委員

- ・問2で「あいさつをする程度の付き合い、ほとんど付き合いはない」と回答した人に対する理由で、近隣トラブルなどの選択肢があったほうがいい。
- ・生活困窮者自立支援制度についての問いで、何が解決されればありがたいかという問いが分かりやすい。

○委員

- ・問19で選択肢の5の「相談窓口職員の知識、接遇の向上」は実際に相談した人しか回答できないが、それでよいのか。

○会長

- ・複数回答なので、いくつか選ぶ中で該当することはあるかもしれない。

○委員

- ・問7の回答選択肢の4は、「連携」と「協力」の言葉の順序は逆ではないか。

○委員

- ・人口減少の課題が挙げられているので、地域の人手不足に関する問いもあるべきと思う。
- ・今後、人がいないということも前提で、行政・福祉サービスをどのように提供していくのかのヒントにつながる問いがあっていいと思う。

○委員

- ・問13の1の選択肢の「老人クラブの活動」とあるが、「老人」よりも「高齢者」と直したほうがいいと思う。

○事務局

- ・本日頂いた御意見については、可能な限り反映および修正し、郵送等で改めて確認していただいた上で、実施したい。

(3) その他

- ・特に議事なし

5 閉会

以上